水産宮崎
SUISAN MIYAZAKI
2016 12 No.686

変化に対応するためにより強固な連携を

県知事への陳情

青い羽根募金にかかる感謝状表彰

お魚料理講習会

CONTENTS

FISHING POLITICS 漁政

水産振興施策要望書の提出（県知事、県議会議長）
青い羽根募金に係わる感謝状伝達式
平成28年度 宮崎市沿岸海難救助訓練の実施
お魚料理講習会
地産地消交流給食会出席
シーフード料理コンクール（レシピ掲載）
新スプリアス規格への対応に関する説明会
平成28年11月属人水揚げ表
平成28年11月漁業生産統計

FISHERY MANAGEMENT 漁協経営情報

平成28年度漁協税務研修会
宮崎県漁協職連ボウリング大会

BUSINESS 業務情報

宮崎県漁業関係水産技術研修会開催

FISHERIES CO-OPERATIVE 漁連情報

第2回コンプライアンス研修会
JF日向市、是澤組合長が漁協運動功労者として表彰される!

FISHERIES EXPERIMENT 水産試験場

平成28年度水産試験場研究成果発表会のお知らせ
11月の動き（県関係）

RELATED ORGANIZATION 関係機関

日向灘掃海訓練視察
11月の動き

SUISAN MIYAZAKI 12

水産宮崎ダウンロードサービス
※必要な方はコチラからA4サイズで出力出来ます。

2016.12.1発行（毎月1回1日発行）
Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

水産振興施策要望書の提出

宮崎県水産団体（宮崎県漁連会長　宇戸田　定信）は、去る11月2日（水）河野知事、星原県議会議長に平成29年度水産振興施策に対する要望を下記のとおり手交した。

（県要望事項）

1　リース事業を円滑に運営するための基盤強化について

漁業において必須の経営資源である漁船は、収益性の悪化等により高船齢化が進み、本県では船齢15年を超える割合が9割にも達し、漁業経営の存続が危機的な状況となっています。

このような状況の中、国の水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業(漁船リース事業)を活用して、競争力ある収益性の高い漁船の導入を公益社団法人宮崎県漁村活性化推進機構をリース事業体として進めているところです。つきましては、漁船リース事業の継続的実施のため、以下の支援をお願いします。

1. リース事業体で懸念されるリスクに備えつつ、事業を円滑に進めていくため、リース事業体の基盤強化のために、漁連等関係団体から資金支援等を検討しておりますが、県におかれましても推進機構への体制及び財政強化への支援をお願いします。
2. リース漁船の取得に必要な資金の借入が十分にできるよう漁業近代化資金の貸付枠の拡大及び債務保証を行う宮崎県漁業信用基金協会の基盤強化のための支援をお願いします。

2　漁業経営指導の強化について

これまで、宮崎県漁業経営管理指導協会が実施していた漁業経営指導を公益社団法人宮崎県漁村活性化推進機構に移管し、「漁業への着業支援」、「効率的な漁業への転換支援」、「漁業者への経営指導」を一元化した体制としたところであるが、今までの既存漁業者への経営指導のみならず、新規就業者等への経営指導までその対応が広がっており、沿岸漁業の漁家の経営状況把握等着実な事務遂行のために、さらなる体制及び財政強化への支援をお願いいたします。

3　金融支援の実施・継続について

1. **漁業経営安定対策資金の継続について**
   セーフティーネット構築事業の安定運営のため、「漁業経営安定対策資金」による支援を引き続きお願いいたします。
2. **水産業競争力強化金融支援事業について**
   県域事業体に対する近代化資金の100%融資対応、中古漁船の償還期限延長等など柔軟な対応、ご支援についてお願いいたします。
   現状5年間の実質無利子化措置について、漁船リース期間に併せた延長をお願いします。
3. **漁業経営基盤強化金融支援事業について**
   借入により漁船建造等設備投資を行う場合の漁業者の金利負担軽減を図るため、近代化資金で漁船関連資金を利用する場合においても、公庫資金と同様の融資対象上限枠で対応いただきたく、事業内容の拡充についてお願いいたします。

4　養殖業における種苗価格の安定について

本県主要養殖対象種のカンパチ種苗は主に中国で漁獲される天然種苗に依存しており、その供給は変動が大きく価格が不安定である。なおかつ近年は種苗価格が高騰しており、生産コストの増大が経営を圧迫している。

これらのことから、安価で安定した人工カンパチ種苗の供給や、経営安定のための支援をお願いいたします。

5　操業支援情報の高度化について

水産試験場により提供されている「水試日報」のほか、操業支援情報については、出漁判断や漁場探索等に利用され、漁獲量の向上や操業コストの削減に役立つことから、新たな観測や情報配信システムの導入を推進し、より収益性の向上が図られる情報の高度化を促進していただくようお願いいたします。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

6　浮魚礁の計画的な更新について

日向灘沖合に設置されている浮魚礁は、カツオ・マグロ類等の回遊魚を効率的に蝟集、滞留させ、本県のかつお一本釣り、曳縄漁業等の漁場として、無くてはならない施設であることから、耐用年数が経過した浮魚礁に対して計画的な更新をお願いいたします。

7　地域の防災対策の強化について

南海トラフ巨大地震による津波被害が想定される中、漁港の老朽化した施設の補修及び防波堤の強化・耐震岸壁の整備、また地域住民を守る防潮堤等の整備を早急に実施して頂くようお願いいたします。

（国要望事項）

1　燃油高騰緊急対策の継続・強化について

1. **効率的な操業体制の確立支援事業について**
   平成27年度までは補正予算で措置された「効率的な操業体制の確立支援事業」の継続と所要額の確保をお願いいたします。
2. **セーフティーネット構築事業について**
   セーフティーネット構築事業の継続並びに発動ラインの引き下げをお願いいたします。

2　水産資源の回復に向けた取組について

1. **沿岸資源の回復のための施策推進について**
   資源回復のために漁業者が休漁や禁漁等の資源管理措置に円滑に取り組めるよう減収に伴う支援措置の構築をお願いいたします。
   また、資源減少が憂慮される魚種については、資源量・漁獲量の回復を図るため、資源状況に応じた種苗放流、藻場･干潟の保全ほか、資源管理措置と連携した既設増殖場の機能回復や餌料培養型増殖礁の整備など、沿岸資源の生活史に配慮した浅海域の生産力向上の積極的な推進をお願いいたします。
2. **カツオの資源管理方策の構築について**
   日本近海に来遊するカツオ資源が減少している中、日本近海に来遊するカツオ資源を太平洋全体の資源動向と区分し、資源調査を行うとともに、適切な資源管理方策の構築をお願いいたします。
3. **大中型巻き網船に対する漁獲制限について**
   大中型巻き網船のまぐろ漁獲制限の更なる規制強化をお願いいたします。
4. **かつお・まぐろ漁業対策について**
   国際漁場の確保と漁業経費の軽減のため、国際的な漁業協定で義務化される機器並びにオブザーバー配乗等に対して支援事業の拡充・強化についてお願いいたします。
5. **マルシップ制度の見直しについて**
   近海マルシップ漁船の日本人船員枠については、現在3名以上の配乗が必要となっております。
   小型漁船においては日本人船員の確保ができず苦慮いたしております。
   操船に必要な船長、機関長の日本人2名配乗でマルシップ制度が活用できるよう制度の見直しについてお願いいたします。

3　収益性の向上に向けた取組について

1. 国のもうかる漁業創設事業や開発調査センター事業により、モデル船・操業（次世代改革型漁船の建造や新操業体制）の構築を図り、収益性を重視した漁業経営に転換できるよう予算の確保をお願いいたします。
2. **各種事象への対応措置について**
   a. 漁業用A重油、軽油の免税措置の恒久化についてお願いいたします。
   b. 農林漁業用軽油に係る石油石炭税については、新たな還付措置の導入をお願いいたします。
   c. 船舶検査に伴う費用が漁業者に大きな負担となっており、定期検査にあわせて廃業を余儀なくされる漁業者が増加しております。

   このため、漁業経営並びに安全操業が存続出来るよう船舶検査に伴い発生する費用に対する助成制度の確立についてお願いいたします。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

4 漁業共済制度の見直しについて

1. 漁業共済制度の改善について
   a. 補償水準の見直し
   魚価の低迷による漁業収入の下落と経費の高騰により漁業収支悪化が持続している現状を踏まえ、補償水準の引き上げによる安定的な補償となるよう見直しをお願いいたします。
   b. 国庫補助率の見直し
   義務加入や義務規模によって国庫補助率に格差を付けて適用される仕組みになっていますが、国庫補助率を引き上げて全ての漁業者が高率の補助を受けられるように見直しをお願いいたします。
2. 漁業収入安定対策事業について
   a. 制度の恒久化
   漁業収入安定化対策事業を法律等に基づく恒久的な制度となるようお願いいたします。
   b. 払戻判定価格の見直しについて
   養殖業において、標準出荷価格は過年度実績により定められていますが、価格が暴落した際には、大多数の養殖業者が生産原価割れの状態で出荷せざるを得ないのが現状です。
   今、浜からは生産原価の確保が求められており、このことを踏まえ払戻判定価格の見直しをお願いいたします。
3. 異常災害に対応できる制度の構築について
   異常な自然災害により操業不能となった漁業者が、漁業を再開する場合の一定期間の収入を補填する制度の構築をお願いいたします。

5 外国人技能実習制度の見直しについて

1. 受入期間の延長について
   外国人技能実習生の受入期間の延長(3年から5年)及び受入人数の増員ができるよう制度の見直しについてお願いいたします。
2. 待遇基準の見直しについて
   漁業は、海上労働の特殊性等から他産業とは異なる労働体制となっているため、実習生の待遇基準の制定に当たっては、全業種に対して一律の基準を適用するのではなく、漁船漁業については海上での労働実態にも適応するよう、漁業の特殊性を考慮した基準として頂くようお願いいたします。

6 担い手対策について

1. 担い手の確保について
   本県水産業の就業者数は、少子高齢化の進展などにより減少が加速し、平成25年の就業者数は、2,677人と平成20年に比べ20%の減少となっている。特に、本県漁業経営体の85%を占める個人経営体の減少率が高いことから、個人経営体への新規参入・承継促進及びその自立・着業支援について担い手対策の拡充をお願いいたします。
2. 新規漁業就業者総合支援事業における漁家子弟の対応について
   これまで研修生として対象とならなかった漁家子弟(2親等以内の親族が現在漁業を行っているもの)が、平成24年の補正事業より対象となりました。
   しかし、3親等以内の親族が経営する機関での受入は未だ認められておりません。
   農業の就業者支援においても同様の対応となっておりますが、漁業は陸上作業とは異なり、海上での漁労作業であり常日頃、親族の働く姿を間近に見ることや体験することはなかなか出来ません。
   特に、大臣許可漁業につきましては航海が長く、遠洋・近海まで出漁するため、漁家子弟といえ沖合での操業についてはほぼ目にすることは出来ない状況にあります。
   このため、漁業後継者の育成を図るためにも、親族が経営する機関で研修生を受け入れることが可能となるようお願いいたします。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

青い羽根募金に係わる感謝状伝達式

去る平成28年11月8日、宮崎市役所危機管理局長室において、今年度の青い羽根募金に係る感謝状の贈呈を行った。
宮崎県水難救済会より長友事務局長が宮崎市役所総務部危機管理局危機管理課の中武課長補佐へ今年度の青い羽根募金に係わる協力に対する御礼を述べ、感謝状を贈呈した。

平成28年度 宮崎市沿岸海難救助訓練の実施

去る平成28年11月18日、宮崎港において、海上保安部と宮崎県水難救済会所属救難所の合同で、宮崎地区の沿岸海難における救助体制を充実させるため、救助技術を演習・確認することにより沿岸海難救助時の連携強化を図る海難救助訓練を実施した。
関係者37名が参加した。

【訓練内容】

- 海中転落者救助搬送訓練
- 漂流小型船えい航訓練

【参加機関】

- 宮崎小型船舶安全協会救難所
- PW安全協会救難所
- 宮崎ライフセービングクラブ救難所
- 宮崎海上保安部

お魚料理講習会

近海かつお1本釣り漁業日本一を誇る本県船で漁獲されたカツオを多くの方に食していただくため、下記日程においてお魚料理講習会を開催した。県内漁協女性部にご協力いただき、かつおのたたき・かつお飯・かつおカツをメインに調理、試食を行った。

10月20日	都城農業高等学校　ライフデザイン科　41名 講師：南郷漁協女性部
11月1日	高城高等学校　生活情報科　39名 講師：日南市漁協女性部
11月18日	高鍋高等学校　生活情報科　39名 講師：延岡市漁協女性部

FISHING POLITICS

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

地産地消交流給食会出席

去る10月11日、日之影町立宮水小学校において交流給食会に参加した。
JF北浦　長瀬青壮年部長、東臼杵農林振興局にご協力いただき、日向朝どれの定置魚や伊勢エビ、漁具や大漁旗、漁法についてパネル展示を行った。漁業・農業・給食食材の3ブースにわかれ、漁業のブースでは魚を見たり触ったり、模擬かつおの1本釣り体験を行った。また、かつおや伊勢エビを目の前で捌くなど、調理の説明も行った。
また、11月24日には北方小学校において（公財）宮崎県学校給食会主催の交流給食会に参加、和田漁業士（JF庵川）及び東臼杵農林振興局に参加いただき庵川獲れの魚の展示と牡蠣養殖の漁具や漁法の説明をいただいた。普段、1匹まるごとの海の魚をなかなか目にすることの無い生徒さんにとって大変貴重な経験になったとの感想をいただいた。

シーフード料理コンクール（レシピ掲載）

プロを目指す学生部門（テーマ「私のお店で出したいお魚の一汁一丼」、調理時間40分）

県漁連会長賞（優秀賞）	
日南学園高等学校	大塚祐三
宮崎産、海幸、山幸、コラボ丼＆仲よし汁	

お魚料理チャレンジ部門（テーマ「おうちで食べたいお魚の一汁一丼」、調理時間40分）

県漁連会長賞（優秀賞）	
延岡工業高等学校	村田明里
鰹の梅しそ丼、つみれ汁	

新スプリアス規格への対応に関する説明会

去る11月21日（月）宮崎県水産会館4階第1研修室において、関係団体担当者へ向けて、新スプリアス規格への対応に関する説明会が開催された。主な説明内容は以下の通り。

（1）「新スプリアス規格への対応について」

九州総合通信局航空海上課　上席検定審査官　岩元賢二
九州総合通信局航空海上課　漁業通信担当電波検査員　伊集院光男

説明終了後、油津漁業無線局および宮崎県水産政策課より以下の通り報告が行われた。

（1）「油津漁業無線局所属船舶局の新スプリアス規格の現状について」

油津漁業無線局　局長　坂元俊二
油津漁業無線局　次席　大野英幸

（2）「新たに無線機器を購入される際の融資制度について」

宮崎県　農政水産部水産政策課　団体金融担当　主事　杉尾和寛

FISHING POLITICS

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

平成28年11月漁業生産統計

漁協名＼区分	11月分			11月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	%
北浦	3,223	254,556	79	43,314	2,809,067	65	56,683	3,177,934	56	−13,370	−368,868	15.7
島浦町	463	100,024	216	9,359	1,398,049	149	14,871	1,617,579	109	−5,512	−219,529	37.3
延岡	81	34,806	430	513	201,840	394	476	204,024	429	37	−2,184	−8.1
延岡市	106	47,769	449	908	428,164	472	709	405,872	572	198	22,293	−17.6
庵川	78	47,883	610	1,179	558,857	474	1,424	599,147	421	−246	−40,290	12.7
門川	40	22,383	560	368	199,181	541	285	194,196	682	83	4,985	−20.6
日向市	290	266,952	921	3,784	2,668,990	705	3,809	2,718,030	714	−25	−49,040	−1.2
都農町	41	47,588	1,155	387	307,991	796	420	281,118	669	−33	26,872	18.9
川南町	210	207,545	988	2,552	2,130,886	835	2,600	2,099,441	807	−49	31,445	3.4
一ツ瀬	7	5,946	810	113	80,988	718	127	92,145	726	−14	−11,157	−1.1
橘浜	9	5,499	630	112	46,807	420	108	47,721	442	4	−914	−5.1
宮崎	68	44,017	644	969	491,097	507	925	463,363	501	44	27,734	1.2
宮崎市	53	58,642	1,102	816	522,026	640	824	537,738	653	−8	−15,712	−1.9
日南市	291	192,703	661	5,159	2,618,001	507	5,239	2,720,926	519	−80	−102,926	−2.3
南郷	370	190,972	516	12,795	5,007,964	391	14,413	5,541,994	385	−1,618	−534,030	1.8
栄松	15	14,172	952	997	414,160	415	1,183	493,529	417	−186	−79,369	−0.4
外浦	165	63,054	382	6,408	2,344,877	366	6,341	2,354,814	371	67	−9,937	−1.5
串間市東	75	35,214	471	1,163	473,914	407	1,371	512,501	374	−208	−38,587	9.0
串間市	625	341,467	546	7,353	4,105,142	558	7,579	4,325,713	571	−226	−220,571	−2.2
合計	6,212	1,981,193	319	98,248	26,808,001	273	119,389	28,387,785	238	−21,142	−1,579,784	14.8

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

平成28年11月属人水揚げ表

上段 数量：トン
下段 金額：千円

漁協＼漁業種類	かつお一本釣	まぐろ延縄	旋網	曳縄	底曳網	船曳網	定置	養殖	その他	合計
北浦			42,260		275		525	21	233	43,314
			2,499,659		66,113		175,396	35,871	32,028	2,809,067
島浦町		358	8,274	1			201	446	78	9,359
		334,951	475,135	9,929			69,361	456,542	52,132	1,398,049
延岡				8	15	379			110	513
				12,555	8,758	143,997			36,531	201,840
延岡市	130			2	94	187	404	5	87	908
	42,661			1,725	33,811	83,003	149,558	3,941	113,466	428,164
庵川	58	348	331		74		254	60	53	1,179
	25,906	295,083	33,141		34,639		84,585	46,657	38,846	558,857
門川		34		13	86	208			26	368
		32,899		15,679	32,377	90,392			27,834	199,181
日向市	272	2,431		11	2	281	640	12	135	3,784
	118,137	2,186,834		4,991	1,120	63,539	193,963	11,330	89,076	2,668,990
都農町		294		10	0				83	387
		246,809		6,827	5				54,351	307,991
川南町		2,187		115	13				236	2,552
		1,871,968		77,650	9,726				171,543	2,130,886
一ツ瀬				11	13				89	113
				11,739	7,562				61,686	80,988
橘浜					5	60			47	112
					3,022	15,025			28,761	46,807
宮崎		396				494			79	969
		310,744				126,649			53,704	491,097
宮崎市		329	167	68	68	86	28		69	816
		232,884	46,532	42,538	40,722	14,934	20,093		124,323	522,026
日南市	3,622	1,268		101			83		86	5,159
	1,322,396	1,071,077		64,522			45,409		114,597	2,618,001
南郷	11,021	959		233			545		37	12,795
	4,140,905	466,958		146,645			224,662		28,794	5,007,964
栄松	898	67		29					2	997
	319,348	61,213		30,506					3,093	414,160
外浦	5,568	671					168		2	6,408
	2,070,673	188,969					81,777		3,459	2,344,877
串間市東		70		182			852		59	1,163
		65,087		109,960			249,514		49,354	473,914
串間市				14	9	34	12	7,267	18	7,353
				10,423	5,594	62,581	8,550	3,981,854	36,140	4,105,142
合計数量	21,568	9,412	51,033	798	654	1,729	3,712	7,811	1,530	98,248
〃　金　額	8,040,025	7,365,474	3,054,467	545,687	243,448	600,120	1,302,868	4,536,196	1,119,717	26,808,001
（魚価）	373	783	60	684	372	347	351	581	732	273
前年数量	23,325	9,658	70,271	736	498	1,541	3,819	8,070	1,472	119,389
〃　金　額	8,641,727	7,708,331	3,564,435	507,991	228,417	556,450	1,269,046	4,778,542	1,132,847	28,387,785
（魚価）	370	798	51	691	459	361	332	592	770	238
数量増減	−1,757	−246	−19,238	62	156	188	−107	−258	58	−21,142
〃対比(%)	−7.5	−2.5	−27.4	8.5	31.4	12.2	−2.8	−3.2	3.9	−17.7
金額増減	−601,701	−342,857	−509,968	37,696	15,030	43,670	33,822	−242,346	−13,130	−1,579,784
〃対比(%)	−7.0	−4.4	−14.3	7.4	6.6	7.8	2.7	−5.1	−1.2	−5.6
魚価増減	2	−16	9	−7	−86	−14	19	−11	−38	35
〃対比(%)	0.6	−2.0	18.0	−1.0	−18.9	−3.9	5.6	−1.9	−4.9	14.8

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

平成28年度漁協税務研修会

JF宮崎漁連（会長・宇戸田定信）は、11月25日（金）、漁協の参事、経理担当者を対象に当研修会を開催した。
主な研修内容は以下の通り。

1. 平成28年度の税制改正について
講師：宮崎税務署審理専門官 総括調査官

宮崎県漁協職連ボウリング大会

宮崎県漁協職員連絡協議会（委員長・時任龍彦）は、県南地区11月17日（土）日南ボウリングセンターにて平成28年度ボウリング大会を開催した。
結果は次のとおり。

地区	県南地区
日時	平成28年11月19日（土）
場所	日南ボウリングセンター
参集範囲	JF日南市～JF串間市
参加者数	53名

優勝	吉田勝明（JF日南市）
2位	小玉秀明（JF外浦）
3位	鈴木希望（JF外浦）
団体優勝	JF外浦

FISHERY MANAGEMENT

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

宮崎県漁業関係水産技術研修会開催

宮崎のさかなビジネス拡大協議会は、県漁連、一般社団法人大日本水産会と共催で、このほど、県水産会館において「衛生管理と新メニュー開発」をテーマに漁協関係者や水産加工業者を対象とした、研修会を開催しました。

研修会は2部に分れ、第1部は「水産加工場、加工品の衛生管理について」と題して大日本水産会の山口隆宏国際輸出促進部次長が講演。加工場で安全、安心な食品製造のリスクを「生物的」「化学的」および「物理的」の3つのリスクを詳しく御説明いただきました。中でも水の安全性や食品と接する表面の状態と清潔さ、人の流れと汚染物質が交差することが原因となる「交差汚染の予防」など8つのポイントを押さえることが大事との御指導がありました。参加した31名の皆さんからは、「衛生管理って難しいからと避けていたら、食中毒や商品回収の話になって大事件となることへの対応が学べた」とか「実際に自分の加工所をチェックしてみたい」などの御意見がありました。

第2部では、日本食研株式会社の研究開発本部メンバーが「最新の水産加工技術と調味料」と題して「講演」＋調理研修室で実際に調理研修を行いました。この日本食研さんは業務用加工調味料業界では、ダントツのトップメーカー。宮崎側から提案した、アジ、カツオ、シイラ、マグロを原料に、それぞれ3品づつのレシピが紹介され、実際に調理と試食を行いました。

参加者からは、「簡単ですぐできるわ」とか「下準備も簡単に済ませたのに非常に美味しい」など大好評をいただきました。
参加された皆さん、是非　新たな気持ちで「衛生管理と新メニュー開発」よろしくお願いしますね。

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

第2回コンプライアンス研修会

漁連は11月22日（火）、水産会館において第2回コンプライアンス研修会を開催した。
9月の第1回に参加できなかった職員を対象とし、「事故や事件のない職場をつくる」をテーマに行い、講師の戸高栄作氏から「取り返しのつかない失敗をしない」などについて説明があった。

JF日向市、是澤組合長が漁協運動功労者として表彰される!

去る11月17日（木）、東京都千代田区の如水会館で開催された、全漁連主催による第31回漁協運動功労者表彰式典において、JF日向市の是澤組合長が表彰を受けた。
今回の表彰は組合長就任10年以上を経過し、本会理事としての功績や水産業発展に大きく寄与した事などが認められたもの。
当式典には全国から39名の受賞者が参加し、全漁連の岸会長より表彰状の授与を受けた。

FISHERIES CO-OPERATIVE

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

水産試験場 FISHERIES EXPERIMENT No.686 2016.12

平成28年度 水産試験場研究成果発表会のお知らせ

平成28年度の研究成果発表会についてお知らせします。常日頃より水産試験場の調査研究にご協力いただきまして、ありがとうございます。

現在、水産試験場では「第5次宮崎県水産業・漁村振興長期計画（後期計画）」に基づき「資源回復と経営力の強化による持続可能な水産業・漁村」を構築するため、「魅力ある水産業の構築に向けた研究」「未来につなぐ漁業担い手の支援につながる研究」に最優先で取り組んでおります。

これら試験研究で得られた成果は、随時、研修会や勉強会あるいは普及指導員を通じて皆様にお知らせし、活用していただいているところではありますが、さらに広く成果を紹介し、関係者の皆様方から直接ご意見をいただき、今後の研究に活かしていくために、研究成果発表会を開催しております。

今年度も以下のとおり開催いたしますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

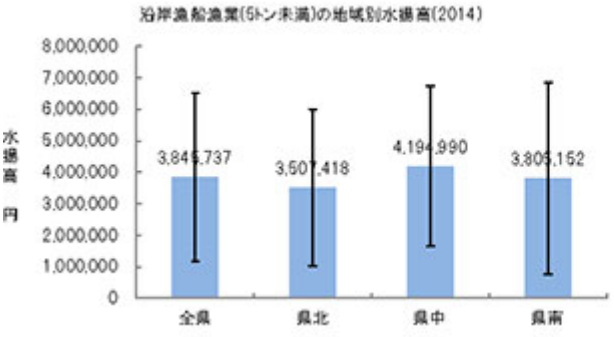
1. 日時	平成29年1月12日（木）午後1時から午後3時半
2. 場所	水産会館5階　大研修室
3. 内容	水産試験場からの成果報告

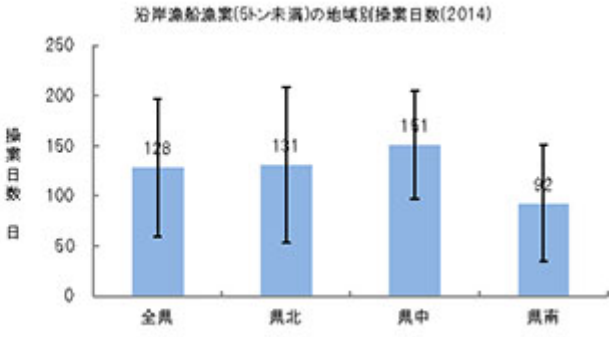
（1）「本県沿岸漁船漁業の将来を考える　～ビッグデータを活用した沿岸漁船漁業の分析～」

ア 発表者　経営流通部　市原　肇

イ 概要

沿岸漁業就業者の減少が著しいことから、効率的・効果的な対策を講じるために、沿岸漁業の収益構造の現状分析を行っています。今回、5トン未満の漁船漁業を対象として、地域別の特性や収益性の高い漁業形態の特徴について解析した結果を報告します。





（2）「魚たちが教えてくれた本城川　～豊かな河川を未来に引き継ぐために～」

ア 発表者　内水面支場　中廣　篤人

イ 概要

内水面資源の回復や漁場環境の再生の一助とするために、県内河川における魚介類の生息状況や河川工作物の機能調査を実施しています。今回は串間市を流れる本城川で、干潟の重要性や工作物の影響を確認しましたのでその結果を報告します。

	魚類（種）				十脚甲殻類（種）			
	純淡水	通し回遊	周縁性	計	純淡水	通し回遊	周縁性	計
ダムより上流にある河川(2)	10	3	0	13	2	0	0	2
ダムより下流にあり、干潟を有しない河川(3)	6	9	1	16	2	6	1	9
ダムより下流にあり、干潟を有する河川(5)	7	13	21	41	1	7	13	21
本城川	5	17	35	57	1	9	21	31

本城川における生息確認種類数とパターン別の他河川との比較

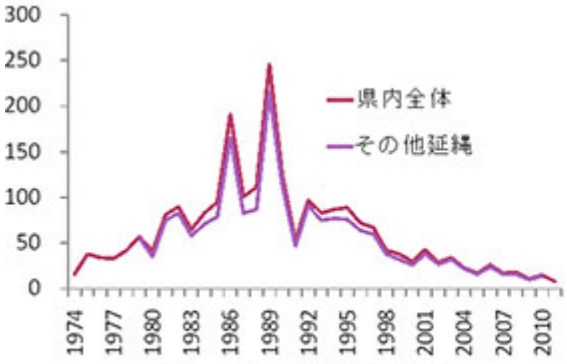
Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

（3）「日向灘ブランド「アマダイ」復活にかける取組！　～アカアマダイ種苗生産技術開発～」

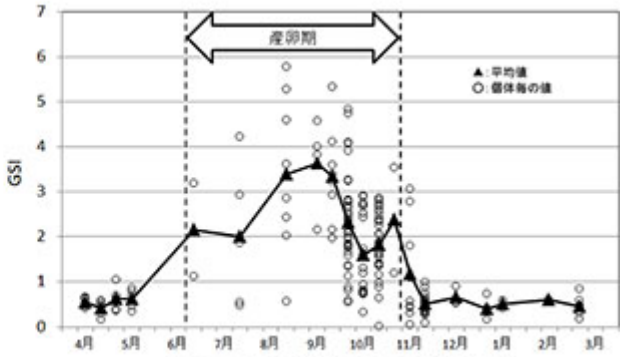
ア 発表者　増養殖部　松浦　光宏

イ 概要

アマダイ資源の回復手段として、種苗放流による資源添加が考えられますが、生産に必要な親魚確保等には高水温に弱い等の課題があります。採卵時期の調整や関係漁業者の協力により、安定採卵に向けて前進していますので報告します。



県内のアマダイ類漁獲量



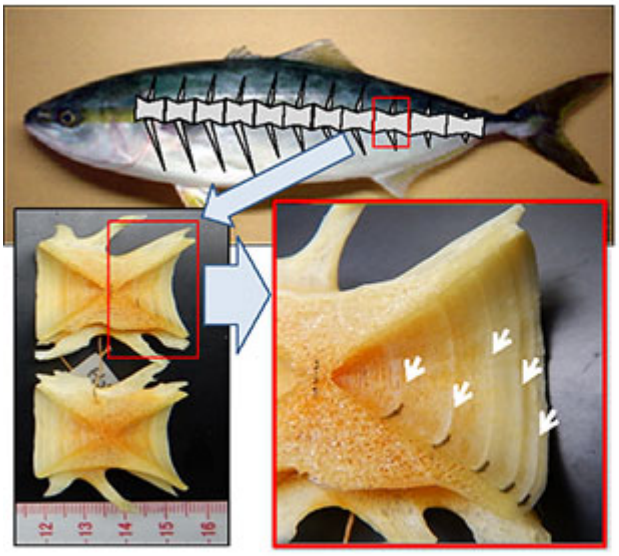
雌の生殖腺熟度の季節変化

（4）「日向灘に来遊するブリの特徴と年齢　～大型定置網におけるブリ漁況予測の可能性～」

ア 発表者　資源部　西口　政治

イ 概要

ブリは大型定置網の重要な漁獲対象であり、本県海域への来遊予測が可能となれば、計画的な漁業経営に資することから、電子標識による回遊調査や漁獲物の年齢査定を実施してきました。これらの結果を基にした来遊予測の可能性について報告します。



脊椎骨による年齢査定

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5+歳	総計
0-1kg	3						3
1-2kg	6	17					23
2-3kg							0
3-4kg		2					2
4-5kg			2				2
5-6kg			4	7			11
6-7kg			3	3			6
7-8kg			3	7	4		14
8-9kg			1	10	4	2	17
9-10kg				12	6	6	24
10-11kg				8	23	7	38
11-12kg				1	9	10	20
12-13kg				2	4	7	13
13-14kg						1	1
14-15kg						1	1

調査魚の体重区分と年齢の関係

No.686 2016.12.01発行
Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

また、宮崎大学農学部　岩槻幸雄教授から「宮崎県の沿岸性魚類と温暖化　～東アジアの魚類の固有性、その資源及び温暖化による変化～」について、ご講演いただきます。

水産試験場では、研究成果や今後の計画が、漁業現場等で本当に役立つ内容となっているかを、業界の皆様方にも参加いただき「県試験研究評価検討委員会（水産部門）」で審査いただいております。

本年度は、８月９日に開催された委員会において、終了課題９件のうち８件が「ねらいどおりの研究成果が得られ、成果の普及及び活用が期待できるもの」との評価をいただきました。

また、下の平成29年度の新規試験研究計画６件について、それぞれ重要課題であり推進すべきであるとの評価をいただきました。

①資源変動期における主要浮魚類の漁況・漁場予測技術の開発

②イセエビの資源構造の把握と合理的な資源利用法の開発

③細菌性難治療性疾病の予防に関する研究

④ビブリオ・ハーベイ感染症の予防に関する研究

⑤稚仔魚期のアユの生態及び資源状況に関する研究

⑥高度回遊性魚類の資源生態と回遊経路に関する研究

今後とも皆様方からのご意見等をいただき、研究ニーズの把握に努め、現場で真に必要とされる成果を得ることができるよう、職員一同努力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

１１月の動き（県関係）

24日	第309回 宮崎県内水面漁場管理委員会（宮崎市）	28日	第390回 宮崎海区漁業調整委員会（宮崎市）

No.686 2016.12.01発行

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

日向灘掃海訓練視察

本年度11月20日から30日の10日間、日南市沖で日向灘掃海訓練が実施され、21日に行われた視察研修に漁業関係者が出席した。
研修は、掃海艇に乗艇し船内見学が行われ、その後訓練海域を航行し、実際に掃海訓練の見学も行われた。

11月の動き

1日	お魚料理講習会（高城高校）	20日	お魚料理講習会（生目台東小学校）
2日	宮崎県知事、宮崎県議会への陳情	21日	新スプリアス規格への対応に対する説明会
8日	青い羽根募金に係わる感謝状伝達式	21日	日向灘掃海訓練視察
18日	沿岸海難救助訓練（宮崎市）	22日	第2回コンプライアンス職員研修会
18日	お魚料理講習会（高鍋高校）	24日	交流給食会（北方小学校）
19日	宮崎県漁協職連ボウリング大会（県南地区）	25日	平成28年度漁協税務研修会

RELATED ORGANIZATION

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.